

# 印象に残り応援したくなる ローカル鉄道のブランド戦略



Interview

銚子電気鉄道株式会社 代表取締役社長／税理士

たけもと

かつのり

## 竹本 勝紀さん

1962年生まれ、千葉県出身。慶應義塾大学経済学部卒業後、1990年に竹本一忠税理士事務所へ入所、税理士登録を行う。2005年、銚子電気鉄道株式会社（以下、銚子電鉄）の顧問税理士に就任。2012年12月、銚子電鉄の代表取締役社長に就任。ユニークな企画を次々と打ち出し、銚子電鉄の知名度を飛躍的に向上させる。現在は千葉市内にある竹本税務会計事務所の代表のほか、数社の社外取締役・監査役を兼任、銚子電鉄の代表取締役社長と電車運転士の業務、イベント出演など幅広く活動している。

【取材・文】 水村 聡 中小企業診断士 【写真】 安岡 嘉



### — The prologue

銚子電鉄は千葉県の最東端の銚子市を走る全長6.4kmのローカル鉄道である。鉄道事業のほか、食品製造販売業及び物品販売業を行っており、収益構成は鉄道以外が8割を占める。そのため、帝国データバンクには「普通鉄道業」ではなく「米菓製造業」で登録している鉄道会社である。

そうした珍しさに加え、ユニークな取り組みやさまざまな企業との連携も行っていることから、メディアに頻繁に取り上げられている。鉄道ファンならずとも、「銚子電鉄」もしくは「ぬれ煎餅」、「まずい棒」という名前を耳にしている方は少なくないだろう。

そんな銚子電鉄の現在の代表取締役社長は、税理士であり、運転士でもある竹本勝紀氏である。竹本社長に銚子電鉄のブランド向上の秘策について伺った。